



診察室の午後

白浜はまゆう病院
泌尿器科部長 川嶋 秀紀

毎年8月に高野山の宿坊 夕立に見舞われることもあ
で行われる勉強会に参加し 色が進むと、だいたい
ている。排尿障害を専門と 色の夕日が大広間に差して
する泌尿器科医や看護師 くる。

やメーカー関係の人たちが 会の前半は、診療に苦慮
集まる会で、この領域の大 している症例の検討会で
御所の先生方も常連であ
る。

〈37〉高野山セミナー

極楽橋駅から木々の緑の 熱い議論が繰り広げられ
中をケーブルカーで登り、 バスに乗って苅萱堂前の停
留所で降りる。大きな荷物 症例検討会が一段落す
を持った外国人観光客もこ ると、お膳を並べて皆でお
こ数年多い。会場に着くと、 いしい精進料理を食べる。
僧坊の大広間には座卓が並 食事の後は特別講演で、排
べられ座布団が敷かれてい 尿のメカニズムや排尿障害
る。障子は開け放され、中 の原因に関する基礎研究や
庭に面した回廊からの空気 その臨床の新しい動向につ
が涼しい。セミの声を聞き いての講演が行われる。毎
ながら、発表と質疑応答が 回この領域の奥深さを実感
始まる。外が急に暗くなり するのと同時に、今後の診療

や勉強の励みになる。その
あとは高野槇の風呂に入っ
て、皆でワイワイとビール
を飲むことになる。僧坊で
一泊した翌朝には、排便障
害についてのセミナーがあ
る。
排尿障害は泌尿器科診療
のなかで重要な領域であ
る。年を取れば、尿が出にく
くなったり近くなったり、
漏れるようになってくる人
は少なくない。また、脊髄損
傷で下半身がまひするこ
ぼつこつもうまく機能しな
くなる。パーキンソン病や
多系統萎縮症など神経の病
気でもぼつこつがうまく働
かなくなることもある。小
児の先天性疾患で排尿障害
が起ることもある。
お薬や手術でとても良く
なることもあるが、診察や

検査でぼつこつ機能を評価
しながら根気よく診療して
いくことが多く、どちらか
という土地に見えるかも
しれない。排尿のメカニズ
ムやぼつこつ機能障害の原
因については、分かってい
ないことも多く、一見地味
に思われる基礎研究がとて
も興味深い。

今、泌尿器科では、ロボ
ット手術や最新の治療薬に
よるがん治療が花形のように
だ。学会では、これらがテ
ーマの会場は黒山の人だか
りである。腹腔(ふくへん)鏡
手術習得が目下の目標であ
る医師も多い。また、最
新のがん治療薬の値段は天
井知らずである。

高野山でのセミナーは、
世俗の喧騒(ひんそく)を
離れて、静逸の中、謙虚に
病気の原因を追究し、より
よく患者さんを診療するこ
という原点に立ち返る良い機
会だと思っている。